



第3校舎「木造2階廊下」

## 100周年へ向けて飛躍の年！！

2023年卯（うさぎ）年。依然「コロナウイルス感染」の終息は見えませんが、2024年創立100周年へ向けて学園全体が建学の精神「奉仕」の下、心を一つにして新しい世界へ大きく飛躍する年にしたいものです。



### 「2024年創立100周年に向けて」 高校教頭 佐々木 博文

2022年12月、4年に一度のサッカー・ワールドカップが開催されました。日本はグループリーグで強豪ドイツ・スペインに勝利し、ベスト16の決勝トーナメントに進出しました。世間では「ドーハの悲劇からドーハの歓喜」と話題となり、あの悲劇の経験があったからこそ、この歓喜に繋がったとも言われました。また、選手たちは「日本サッカーに新たな景色を」「ブラボー」などと自らを鼓舞し、先輩たちが成し得なかったベスト8を目指しました。

さて、向陽高校は、まもなく100周年を迎えますが、その節目に関わることは大変貴重なことです。諸先輩方が築かれた一つひとつが、現在の我々の学園生活に繋がり、我々もまた未来へ繋いでいくこととなります。教職員・生徒の皆さんが、諸先輩方の経験や歴史から学び、日々真摯に全力で学園生活を送ることで「向陽高校の新たな景色」が見えるものと信じています。

### いま「高校」では!



ルミネ神戸ワイライトクルーズ



USJ



ホテルで朝食



あべのハルカス展望台



新世界



大阪城

修学旅行に行ってきました!

(12/6~9)

### 【看護専攻科】

「感謝の心と素直な心」～創立100周年に向けて～

専攻科副校長 西 邦子

もう、50年以上前のこと、小学校、中学校を共に過ごした同級生たちが、諫早や大村の高校へ進学していきました。その中で覚えているのは、看護師になるという夢を叶えるため向陽高校へ進学する友人。真新しい制服に、落ち着いた緑色のネクタイを締めていました。自分の高校の制服と比べてしまい、お洒落で羨ましいなと思ったのを覚えています。自分も看護の道に進むなど、微塵にも考えていなかった頃でした。

時は流れて、長い間勤務させていただいた病院。そこには、薄ピンク色のユニホームをまとった初々しい向陽高校看護科の生徒の姿が日常的にありました。業務に溶け込むように看護師の後ろを急ぎ足でついて回る姿に、一生懸命さを感じたものです。病院内で実施していた実習開始式では、生徒代表が挨拶をします。その中には必ず、患者さんや病院へ、そして教員や家族への感謝の言葉が述べられていました。「もっともっと学びたい」という素直な気持ちの表れと思っています。

間もなく創立100周年を迎える本校は、長い歴史の中で「奉仕」の心を育てています。生徒の皆さんの中に脈々と受け継がれているものです。人として「感謝の心」を常に持ち、自分自身はもちろん周りの人も幸せにしてほしいと思います。そして学ぶという素直な心で貪欲に知識を増やしてほしいものです。稲盛和夫氏は「感謝の心が幸福の呼び水なら、素直な心は進歩の親であるかもしれません。」と話されています。この両方の心を持っていれば、生きていけそうな気がします。

# こうようようちえん

「明るく なかよく 元気よく」



### 創立100周年に向けて

副園長 桑戸 美穂

初任地の向陽高等学校が、間もなく100周年の節目を迎えます。高校・専門学校を経て、今年度から向陽幼稚園に勤務しております。新しい世界は、感動と学びの連続です。

幼稚園での教育は、“遊び”を通して、好奇心や探求心を養い、創造力やコミュニケーション力等、生きる為に必要な力を学びます。教室だけではなく、砂場や四季折々の色合いを見せる中庭も学びの場となります。園生活では、自分の気持ちをうまく伝えられずに泣いたり、時にはケンカも起こります。初めての事にも挑戦します。その多くの体験を通して気持ちの伝え方やルールを学び、自身の可能性の高まりに気付いていくのだと思います。教員は、その学びが深まるよう、その場の課題や状況を読み取りながら、適切な判断で対応し、一人ひとりに合った言葉かけや援助を心がけています。次の100年も保護者の皆様とともに、子ども達の輝く未来に向けて、奉仕の心を忘れず研鑽を重ねて参りたいと思います。

# 長崎リハビリテーション学院



### 創立100周年に向けて

副学院長 井戸 佳子

新型コロナ感染症患者が日本で確認されてから3年が過ぎようとしています。この3年で非日常だったマスク生活や消毒の感染予防が当たり前になっていますが、一方で、感染症と共存しながら前向きに取り組む状況へ変わってきました。

学院でも当初は必要に迫られたリモート授業でしたが、今年度から2025年度入学者(新指導要領で学んだ高校生)に向けたICT教育体制づくりがスタートし、教員の授業改善に向けた意識も上がってきています。臨床実習は、受け入れていただく施設が増え、ほぼ予定通り現場で学ぶことができました。また、専修学校対抗のスポーツ交流大会や学院祭が3年ぶりに開催され、イベントを通じた学生の生き生きした姿に教員一同感銘を受けました。3年間コロナと過ごした卒業生へ思いを寄せながら、今年こそコロナが終息し、100周年に向けた大きな飛躍の年になりますよう願ってやみません。

# こうようようちえん

## 「お遊戯会」開催(12月3日)

「明るく なかよく 元気よく」



年長さんは、幼稚園生活最後のお遊戯会となりました。クラスのお友だちと力を合わせて、披露しました。



年中さんは、ポップ、和の文化、ファンタジーの世界などそれぞれのテーマに沿った曲に合わせて、チャレンジしました。



年少さんは、初めての発表会でした。お遊戯の曲に合わせて、小さな体を大きく動かして、頑張って発表する姿はとても可愛らしかったです。



## <シリーズ>2024年「向陽高等学校創立100周年」へ向けて

### 「全校清掃」奉仕活動

生徒会が中心になり、100周年へ向けた行事の一環として向陽高等学校建学の精神「奉仕」を実践しています。

(12月6日学校・大村駅周辺他)



## 伝統の「奉仕活動」を継承だワン!



## 向陽ミュージアム 2風に向かって「来館者」メッセージ8

### 平成27年「向陽高等学校」福祉科卒業 T.0様

卒業後初めて来校しました。学生の時は、これからの未来のため頑張っていたなと改めて思いました。一日一日を大切にしていた向陽高校での生活、たくさんのクラスメイトとの思い出があります。100周年まであと1年、もっと盛り上げてください。



H26年度卒業アルバムより